

## 検討結果の概要

## 1. 東京湾における陸域汚濁負荷削減量の算定及び負荷削減量の目標値設定について

「東京湾流域別下水道整備総合計画に関する基本方針策定調査報告書」（平成19年9月）等を参考資料として、排出源別の汚濁負荷量や対策別の負荷削減量を算定し、各施策による化学的酸素要求量（COD）、全窒素（T-N）及び全磷（T-P）の汚濁負荷削減目標量を設定した。以下に例として、T-Nの施策別目標量（資料1の20ページ参照）を示す。なお、詳細は添付資料の資料1を参照。

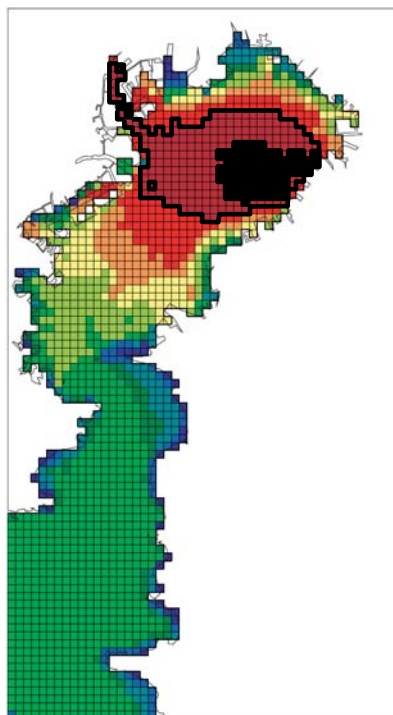
施策別の負荷削減目標量(T-N)

		(TN:単位kg/日)
項目		H24
施策別内訳	下水道の普及及び高度処理の実施	23,414
	水田における適正施肥の実施	548
	畑・果樹園における適正施肥の実施	1,167
	市街地面源負荷削減	1,384
	合流式下水道の改善	2,345
	河川浄化施設等	9.6
総負荷削減目標量		28,869

## 2. 東京湾水質解析モデルを用いた陸域汚濁負荷量算出結果による底層DO解析について

東京湾水質解析モデルにより、底層の溶存酸素（DO）濃度のシミュレーションを実施した。各施策の負荷削減目標量を達成すると、平成24年度には東京湾の底層DO濃度0.5mg/L未満の海域がほぼ解消される（資料2の8ページ参照）。なお、詳細は添付資料の資料2を参照。

底層DO分布シミュレーション結果  
(H16現況負荷量・年最低値)



底層DO分布シミュレーション結果  
(H24年負荷量・年最低値)

